

今回の特集、「いきいき女性社員のスゴさの秘密、教えます！」はいかがでしたでしょうか。女性社員としての不安、意気込み、苦労等の実感がこもっているように思えました。議論の中には男女関係ないと思われる話もありましたが、男女区別ないところが目指す方向とすれば、むしろいいのかもしれない。

さて、男性ばかりの職場における女性に関して、埼玉県のある産業廃棄物処理会社の記事を思い出しました。創業者の娘さんが突然社長になり、子育てをしながらISO14000取得、クリーンな職場環境を実現し、地元との良好な関係を築き、今では業界のお手本として多くの見学者が来訪しています。ここに至るまでに、ご自身が現場の仕事も経験される中で、男性ばかりでは気付かなかった女性としての視点、そしてそこからの気付きを、慣習にとらわれずに意識改革やカイゼンとして行動を繰り返した結果だそうです。途中、会社を去る者や、社員や地元の抵抗もあったそうですが、何度も理を説いて粘り強く実行してきた努力が結実したということです。よく見ると、視点を除けばこれも男女関係なさそうな行動です。

ところで、男性中心の職場の女性ばかりが着目されていますが、その逆もあることをご存知でしょうか。例えば看護師です。全就業看護師数（約100万人）に対する男性看護師は約6%（2012年厚労省調査）でまさに女性中心の職場です。力仕事や夜勤等で重宝される機会が多いが、患者さんからの偏見や差別的発言がまだ多いそうで、まさに立場変われば、といったところです。そういえば、今春、小児科の新米看護師となった知人がおり、彼の奮闘模様を一度聞いてみたいとの思いが湧いてきました。（I.O）

最近ニュースやトレンド番組を騒がせている自動運転車に興味津々です。海外の自動運転車は、ハンドルやアクセルがついていないものもあり、それが動いているイメージ動画を見ると事故の不安が頭をよぎります。

日本での自動運転の研究開発は1980年代からと比較的長いようですが、車庫入れや高速道路上などの限られた状況が主だったようです。一方、欧米では2010年頃から開発が急激に進展し、街中での試験走行を行うなど、法整備も含めて自動運転の現実味が加速しています。そこで日本の国交省は、自動運転システムを「オートパイロットシステム」と呼称し、2012年から検討会を立ち上げ、法制度の問題については国際協調を図りつつ、さらに検討を進めているようです。

自動運転車は過疎地の高齢者の足として、“無人タクシー”などのサービスに最適ですし、生活の基盤が変わりそうなインパクトを持っていると思います。また、日本の自動車メーカーも、2020年までに一般道での自動運転を目指して自動運転車の開発を進めているところもあります。

そこで気になるのが、法整備がどうなるのか、一般道における安全性はどのように保たれるのかでしょう。工事中のマンホールに自動運転車が飛び込んで来てはかきません。車載カメラやセンサーで周囲の環境を認識し、危険を回避する仕組みなので、念のためそれらに反応する物をマンホール屏風に設置するなど、何らかの工夫をする方がよいのかもしれない。何かが便利になると、その反動で何かが不便になるものですね。（Y.H）

こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

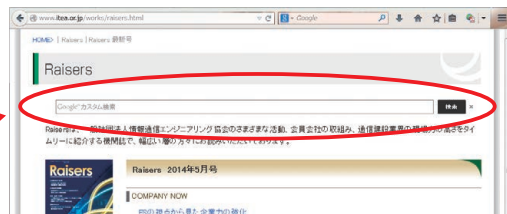
「Raisers」はホームページでも閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から

読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご利用ください。



Raisers第64巻第5号(通巻第720号) 平成28年9月5日印刷 平成28年9月10日発行

定価648円(本体価格600円) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

発行所 一般社団法人電気通信協会 〒163-1455 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー13F

Tel. (03) 5353-0184 Fax (03) 5353-0194

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)

